

受賞者<<株式会社 神戸製鋼所

加古川製鉄所>>

<エコ通勤を推進しマイカー通勤半減を達成>

- ・2008年7月から「ちょっとの我慢」をキーワードにマイカー通勤車両の削減を協力会社も含めて全所的に推進
- ・現在（2012年5月現在）のマイカー通勤車両は推進前と比較すると半減しており、約10.898トン/日のCO2を抑制

1. 加古川製鉄所の環境への取組み

加古川製鉄所の環境方針では「社会との共生・協調」を基本理念としており、防塵・防風ネットや構内道路自動散水等の環境整備、社員の環境への意識付けを徹底するための教育を継続しています。エコ通勤の推進は加古川製鉄所が掲げる環境方針との整合性がとれているのかという問題意識と所内用地の有効活用を一層進める必要があるといった観点から始めました。



(環境研修会の様子)



(構内道路自動散水)

2. エコ通勤の取組み

①所内への通勤車両乗入れ状況

2008年7月時点での加古川製鉄所の従業員数は社員・協力会社併せて約10,000人であり、当時は通勤ステッカーの発行に際して制約条件が



(通勤ステッカー)

なかったため約8,000枚に達していました。

②発生した現象

所内の駐車場は5,500台程度であり、慢性的な駐車場不足・通勤時の周辺道路の渋滞に悩まされていました。通勤途上の交通事故だけでなく、交通マナーの悪さへの地域からの苦情もありました。

③通勤手段の変更内容

当所の環境方針にそぐわないという疑念もあり、2008年7月から2009年4月にかけて段階的に3,500台の通勤車両を削減することを目標にしました。原則として条件(通勤バスのバス停、JR山陽本線・山陽電鉄全線の最寄り駅より歩行距離1km以内に居住する者はマイカー通勤を禁止)に合致する者全員を対象としましたが、やむを得ない事情(ハンディキャップ・子供の送迎・介護等)でマイカー通勤を必要とする者は、個別申請により認めることにしました。

3. 会社側の施策

①通勤バス路線の拡充

これまでもマイカーを使わずに通勤する従業員向けに通勤バスを運行してきましたが、バス利用者の増加に伴い新たな路線や既存路線の拡充を行いました。当初からエコ通勤の代表的シンボルとしてハイブリッドバスを導入し、更なる環境負荷軽減に寄与しています。



(通勤風景)

(ハイブリッドバス)

②自転車通勤者への対応

自転車通勤者への対応として、安全確保の観点から製鉄所内の道路に歩行者・自転車専用レーンを整備しています。



(歩行者・自転車専用レーン)

4. 実施結果とこれから

2009年4月には予想以上に「やむを得ない理由」が多かったため目標としていた3,500台の削減には至らなかったものの、現時点では約3,900台の車両を削減(CO2⇒約10.898トン/日)しています。本施策は2009年7月にエコ通勤推進優良事業所に近畿運輸局管内で第1号として認証を頂き

ました。その認証にも後押しされ本格実施から3年が経過し定着しているのも事実であり、これからも本施策を継続させていくことが肝要であると認識しています。

実施結果

	通勤ステッカー発行台数	削減台数
E C O通勤実施前	約8,000台	
2008年7月 (STEP1)	約7,400台	約600台
2008年12月 (STEP2)	約6,800台	約600台
2009年4月 (STEP3)	約4,700台	約2,100台
2012年5月	約4,100台	約600台



株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所
専務執行役員 加古川製鉄所長
尾上 善則

〒675-0137

兵庫県加古川市金沢町1番地

電話 079-436-1111

加古川製鉄所 環境方針

私達は、法令や社会規範を遵守し、地域の皆様の信頼をより向上させるべく、事業活動のあらゆる面で、地域及び地球環境の保全に配慮して行動し、社会的責任を果たすことにより、次の世代に住みよい地球と豊かな社会を残すように努める。